



会員に伝えよう さまざまな情報伝達

皆さんの商店街では、会員への情報伝達はどうのに行っているでしょうか。関係各所から発信された情報、また商店街や地域独自の情報、どちらもきちんと伝達、共有されていなくては意味がありません。

反面、簡単に伝達と言うものの、本来の毎日の仕事に加えて、商店街のこのような事務作業が担当者の大変な負担となっているのも事実です。

今回の特集では、ちょっとした工夫で少しでもスムーズに情報を伝達する手段はないか考えてみたいと思います。

横浜市商連機関紙(年4回発行)

よこはま 市商連

No.165 2012年(平成24年)
11月号

発行 社団法人 横浜市商店街総連合会

発行人 岡野誠一

〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7 横浜市技能文化会館5F

tel.045-662-0874 fax.045-662-5888

e-mail kato@yokohama-syoutengai.com

制作 場所づくり研究(有)ブレイス

<http://www.yokohama-syoutengai.com/>



横浜F・マリノス
第2回
齋藤 学 選手
大島重信 理事長
06ページ

情報は会員みんなのもの
会合へ出席して得た情報、関係各所から送られてさまざまなお知らせ、担当者の預かる情報は膨大です。

補助事業やイベント出店の募集、研修会のお説など多岐にわたり、目通しするものかなりの労力です。

だからといって、「これはいらないだろう」と、担当者の判断で会員にお知らせしないのは望ましくありません。

「知らなかつた」「聞いてなかつた」は商店街内の結束や信頼をなくしてしまいますし、どんな情報も会員全員のものなのです。

会員に伝える方法 あれこれ

会員に伝える方法はさまざまですが、一般的には

①回覧板

全員に回るが回覧に時間がかかる

②ボスターイン

役員が分担する例が多い。確実だがコビーノど手間かかる

地域の情報源としての 商店街

商店街連合会や行政からのお知らせだけではありません。

商店街は、地域コミュニティの担い手としての役割が重視されていますが、地域の交流の場としての商店街であるために、つねに地域の情報にアンテナを高くしておくことも大切です。

地域の催しや沿線情報など、地域との付き合いの中で収集できることも少なくありません。その情報は共有してこそ価値があります。「○○神社でお祭りがあるよ」というお客様とのコミュニケーションもあります。

いずれも一長二短がありますが、基本は伝えるルールを決めたら、会員が協力して定期的に実施することが大切です。

ショーンも商店ならではです。知つていれば、催しに合わせた仕入れも出来ます。

- 1~3:[特集]会員に伝えよう さまざまな情報伝達 4:[商店街元気人物列伝]小森義治氏 薮隆雄氏/保土ヶ谷区・天王町商店街(協)
5:[こんなお店がほしかった!]グルメショップ・カネヒラ/磯子区・磯子商店街商業(協)
6:[がんばれ!横浜F・マリノス]第2回齋藤学選手と対談 大島重信/中区・石川商店街(協)
7:[フロム市商連]「ガチあま!」受賞商品発表ほか[フロム市役所]安全・安心申請ほか 8:[ニュース]石巻視察ほか

紙面で伝える

「商店街通信のススメ」

最近、紙媒体、さらに・手書きのよさが見直されています。紙面は、誰

でも手に取れて、平等に伝えることができ、商店街内の伝達の基本といえます。

この特集を読んだことを機会に「商店街通信」を発行してみませんか。難しく考えずに、始めてみましょう。その「ツイ」を紹介します。

「見やすく、シンプル」をモットーにしましょう

その1 大きさを決めよう。

A4、一枚がベスト。ざつと原稿用紙2枚程度の文字数は入ります。

その2 文字は大きく。

パソコンの場合は11ポイント程度。もちろん、温かみの伝わる手書きもおススメです。

その4 情報を載せすぎない。

せっかく発行するのならと、あれもこれもと掲載したくなります。ずらつと続く文字は、読み手も読むことを後回しにしてしまいます。情報は、少し足りないくらいがベターです。

3つの大項目を決めておき、情報を分類していきます。

1 理事長からのメッセージ (150文字程度)

2 報告事項

①出席した会合等の報告(日時、目的、議事次第、大切な決定事項があれば簡潔に※会議では次第が配布されることが多いので、そのまま使ってしまおう)

②商店街会員の情報(新規加入、脱退、役員の異動、慶弔など)

3 お知らせ

①商店街宛に届いているお知らせ(項目のリストのみで可、くわしく知りたい人は事務局や担当者のところへ取りに行く)

②近隣商店街の催しや地域のお祭りの紹介

その5 発行回数も月1回、2ヶ月に1回と決める。

あまり発行間隔が長いと、情報が旬でなくなってしまいます。大事なのは情報発信すること、内容を練り過ぎず、シンプルかつスピードのある伝達を心掛けましょう。

通信作りをきつかけとした

「ミニユーチューション

少しイラストの得意な人、少し習字の得意な人など、紙面づくりに関わる特技を持つている会員はいませんか?

パソコンの得意な会員に文面をうつてもらったりなど。発行が軌道に乗つたら、通信づくりという商店街活動に関わってくれる仲間をさがしてみてください。



商店街通信は会員とのコミュニケーションツール

インターネットを活用した情報伝達

人が、パソコンやスマートフォンなどを使う人に限られます。

インターネットを利用することは、写真や動画も使え、送り手が情報報をタイムリーに配信（発信）できるのが強みです。会員内外とも情報を共有できます。当然、紙面のような発行、印刷の手間が省けます。

今や商店街ではホームページの活用は当たり前になりつつあります。が、スマートフォンの普及に伴い、若手会員を中心にSNS（ソーシャルネットワーキングシステム）の利用が広がりつつあります。

みなさんもTwitter（ツイッター）やFacebook（フェイスブック）といった言葉を聞いたことがあります。

それぞれの特徴を踏まえて活用すれば、商店街内の情報交換にも役立ちますし、活性化にも一役買ってくれます。

ただし、これらは情報を見られる



商店街若手によるSNSの勉強会を開いてみる（イメージ）



商店街の賑わいは情報交換から（イメージ）

商店街会員を対象にSNSの勉強会、講習会を開くなど、皆で合意して始めるとともに、使用しない会員には紙面で伝えるフォローも必須です。

厳しい経済環境の中、商店街が生き残り、活性化するためには、まず会員同士の結束が不可欠です。賑わっている商店街は、情報が広く共有され、まとまりがあり、商店街の目指す方向が見えています。

さまざまな情報に商店街の賑わい、ひいては個店の売り上げアップにつながるきっかけがちりばめられています。情報の伝達は必須なのです。

おわりに

私たち横浜市3読売会は、横浜市商店街総联合会と地域活性化を目的とした協力協定を締結いたしました。誠にありがとうございました。

<http://www.facebook.com/yysupport>

読売センターと結ぶ「縛」…Your best partner

あなたの1部が横浜市の力になります

「Y²サポートプロジェクト」は、読売新聞の購読料の中から運営費用を出し、教育、福祉、環境などの分野に対して支援をさせていただいております。



- 横浜北部読売会 North Yokohama
- 横浜東部読売会 East Yokohama
- 横浜西部読売会 West Yokohama

Y²サポートプロジェクト事務局
045-201-8778

商店街 元気人物 列伝

保土ヶ谷区・天王町商店街協同組合
代表理事



こもり よしはる そのたかお
小森 義治 氏 (76) 薮 隆雄 氏 (49)



平成23年から2人体制で商店街の代表理事に就任。

小森さんはそば処「竹林」店主。23年前に持ち帰り弁当店を開業し、60歳で日本そばの修行に入り「そば処 竹林」を開業。

薗さんは「ミナト家具センター」の店主。昭和32年創業家具店の二代目として大阪での修行を経て跡継ぎに。

天王町商店街（協）は、相鉄線天王町駅前に発達した商店街です。旧東海道を北上し、帷子川（かたびらがわ）を渡つて橋樹神社をすぎると、東西にショッピングモールが見えてきます。

二人三脚で商店街運営

前任者から理事長を交代するときには皆で話し合いました。小森さんは飲食店を経営しているので、なかなか外の会合には出られないし、いろいろな行事が多くて、一人ではやりきれない。

そこで、長く商店街の役員をやっておられた薗さんと「一人ならできるのではないか」ということで、薗さんは対外的なことを担当していただき、中のことは小森さんという分担で商店街では珍しい二人理事長となりました。



商店街の道路をいっぱいに使って
「フリーマーケット」を開催

復興支援バザーを実施

東日本大震災被災地支援を目的に、復興支援バザーを始めました。また、地域住民との関係が強い商店街ということから、町会・自治会や子ども会などと商店街が一緒にになって絆をつくっています。



空き店舗を活用した
「棚²てんのうちょう」
では地域の方の手作り品が販売されている



天王町商店街（協）の位置

地域住民が集まる 「ふれあい広場 棚²てんのうちょう」

天王町商店街（協）は「天王町商店街ライバタウン整備事業」（平成10年竣工）で歩道や街路灯などを整備、電線も地中化し、広々とした街並となっています。

この「表門通り」と「駅前通り」が年4回の「フリーマーケット」の舞台になります。橋樹神社で毎月第4土曜日に開催している「アンティークバーゲル＆フリーマーケット」とあわせて、商店街と地域の交流の場となっています。また、「棚²てんのうちょう」は、地域の方が出店できるポップスショップで、手作りの品が販売されています。

小森さんは「こういうことはとても一人じゃやりきれない」と言い、薗さんは「一人体制の良いところは、バランスが良いこと」と言います。また、「お互いに相談しながら商店街運営をできることは本当にありがとうございます」とも。



お二人の理事長の息もぴったり

天王町商店街（協）では2人体制で、お互いに信頼感があるからこそ、積極的にタイムリーにさまざまな課題に取り組めるのだろうと感じました。

二人だからこそ地域の課題にも対応できると実感

イベントを打てば人は集まります。しかし、今後の課題は、それを日常の来訪者の増大につなげていくことだそうです。

そこで小森さんと薗さんは、商店街でしかできない、まちの活力向上や楽しさをつくるために、夜のイルミネーションや、オンラインの店舗の誘致なども検討しています。

こんなお店が
ほしかった！



磯子区・磯子商店街商業協同組合
(通称／浜マーケット)

グルメショップ カネヒラ



今回は、昨年のガチコロ!でみごと金賞を受賞した三角コロッケを製造販売している「グルメショップ・カネヒラ」にうかがいました。

昔ながらの雰囲気を今に伝える磯子区「浜マーケット」。横須賀街道(国道16号)からアーケードをくぐり50mほど歩くと「グルメショップ・カネヒラ」がある

根岸の地に開業して80年

およそ80年前、現代表・兼平実さんのお父さんの代に根岸でお店を開店し、戦後この地に移りました。最初マーケットにお店を2軒出したそうですが、火事で焼けてしまい、今はこのお店で営業をしています。

代表の兼平実さん(精肉)、奥様の清美

さん(総菜)、長男の雅夫さん(総菜)、三男の幸治さん(総菜)、四男の英幸さん(精肉)と、ご家族で経営をされています。

ものすごかつたガチコロ!の反響

昨年、ガチコロ!で「三角コロッケ」が金賞を受賞してからの反響をお聞きしました。「最初はとにかくすごく、それまでの5倍あれば5倍、6倍あれば6倍売れちゃう。最初は、コロッケばかりだったけど、今は他のものも買ってもらえるようになりました。また、新しいお客様がずいぶん増えたな、という感じがします」

これからの方針

これからどんなことに取り組みたいですか? とお聞きしたところ、「1年経つての方針ということもないけれど、これからも味を変えないこと。(総菜を教わった雅夫さんの伯父さんから)「味を変える

お客様の顔を ほとんど覚えている

お客様との対応で気をつけていることはありますか、との質問には、「やっぱり会話をすることじゃないですかね」とおっしゃる雅夫さん。また、清美さんは、お店に出ているときに、お客様と「今晩の

な、同じものを使え!」と教わったことを今でも守って、じやがいもからうどん粉まで、教わった通りの味を今でも伝えています。「三角コロッケの形も、なぜ三角なのかわからないけど、そのまま守つていきたい。今後もずっと変えずにやっていきたい」とのことです。

商店街への期待

最後に商店街への期待をお聞きしました。「最近閉めている店舗もちらほら見えるようになりましたが、ますます活気を出していきたいです。震災の直後は、スーパーには品物がなくなり、お客様が増えました。身近な商店街だからこそ、できることがあるのではないかと思う。マンションに住んでる若い世帯も、こういう商店街に魅力を感じてくれているようで、期待しています」

身近な商店街ならではの、こんなお店にますます頑張っていただきたいですね。



当日取材に応じていただいた、
総菜を製造販売する
長男の雅夫さん(上中央)と
精肉を担当する四男の英幸さん(左)

精肉は基本を守り、 新しい味もつくる

精肉を担当する英幸さんは「良い肉を丁寧に提供するという基本、当たり前のことをしているだけ」とのこと。しっかりと味つけをした人気の焼き豚のほか、修業先で覚えたローストビーフも取り入れました。





がんばれ!

横浜F・マリノス

第2回
齊藤 学
選手

大島重信

石川商店街(協)
理事長

第2回目の対談は、ロンドンオリンピック日本代表にも選ばれた齊藤学選手と中区・石川商店街(協)の大島理事長です。

大島 こんにちは。はじめまして大島です。今日は市商連機関紙の「対談企画」ということでよろしくお願いします。

齊藤 こんにちは。齊藤です。こちらこそ、よろしくお願いします。

大島 突然ですが、齊藤選手、石川町駅前にある石川商店街を知っていますか? 駅を降りたらすぐ元町と思っている方が多くて(笑)。

齊藤 僕も元町だと;(笑)。以前、先輩に誘われて食事に行つたことがあります。

大島 そうですか、ぜひ遊びに来てください。歓迎しますよ。

齊藤 ありがとうございます。今度、商店街のお祭りにも行つてみたいと思っています。

大島 そうですか。いろんな商店街に行くとわかると思うんですねが、だいたい60~70歳の世代が会長をしていて、自分は中でも若いほうなんだけど、僕みたいなのが大

丈夫かなって思いますよね。そういう意味ではサッカーの世界は先輩後輩の縦の関係はどうですか?

齊藤 いや、そういう中で理事長をさらこそ、よろしくお願いします。

大島 おっしゃうのは自分の弱さもあるのかなって。サッカーは実力の世界なので、入っちゃえば年齢は関係ないって言われます。でも以前の僕は、先輩に言われたら、素直に聞くなつていう弱いところがあつたので、それは負けないようにならなければと思つていました。その後1年間愛媛(レンタル移籍)に行つたことで自信がついて、今は自分の意見をしっかり言えるようになりました。

大島 周りから認めてもらうようになるとフレンドリーになれるつてありますよね。僕も最初の頃、上の世代の町内会長さんと話しをしても取り合つてもらえないんです。でも、活動して実績みたいなのができてくると、「聞いてあげようか」から「協力しようか」と。やはり自分の信念で結果を出すというか。(笑)話は変わりますが、うちの子は6歳でサッカーをやつてるんで

す。小さい子どもをやる気にさせる言葉みたいのがありますか?

齊藤 「好きだからやる」ってことですね。親に通わされている子とかを見ているとわかります。やりたくないんだろうなって。

大島 うちの子も好きなのはわかります。

齊藤 僕は7歳でサッカーを始めました。でも負ける気だけはしませんでしたけど、たまにスゴいやつっているんですけど、たまにスゴイも早い子はいました。

大島 でも負ける気だけはしませんでしたけど、たまにスゴいやつっているんですけど、たまにスゴイやつっているんですね。

大島 ライバルじゃないですけれど、そういう存在つて大事ですよね。

齊藤 ライバルは身近にもたくさんいたのですよね。

大島 最後に商店街らしい質問です。もし、商店街でお店をやるとしたら何屋をやりたいですか?

齊藤 難しい質問ですね。商店街ですか、んまり実現してもらいたいですね。でもF・マリノスの戦力ダウンは困るな(笑)。

大島 選ばれるといえ、オリンピックお疲れさまでした。

齊藤 ありがとうございます。悔しい反面、いい経験でした。

大島 帰国して変わったことありますか?

齊藤

いままでは地元(川崎市)でもあり顔を知られていませんでしたが、帰つてから地元の喫茶店で老夫婦から「齊藤君ですよね」って言わされました。やっぱり、オリンピックの効果つてスゴイです。

大島 年齢層関係なく観てもらえるのは、オリンピックだからですね。ところで海外でプレーしたいつ思いましたか?

齊藤 はい、以前から思つてます(キツバリ)。

大島 是非実現してもらいたいですね。でもF・マリノスの戦力ダウンは困るな(笑)。

齊藤 (笑)

大島 最後に商店街らしい質問です。もし、商店街にお店をやるとしたら何屋をやりたいですか?

齊藤 難しい質問ですね。商店街ですか、んまり実現してもらいたいですね。僕は果物屋さんがいいですね。僕は果物が大好きなんです。商店街といふとそのイメージがバツと出てきました。でも大変そう、僕は経営者には向いてないと思います。(笑)

大島 もし果物屋さんになるなら、石川商店街にお店を出して下さいね(笑)。本日は長い時間ありがとうございました。これからも活躍期待しています。

齊藤

1990年生まれ
川崎市出身
横浜F・マリノスブライマリーから、
ジュニアユース、ユースを経て、2008年から横浜F・マリノスのフォワードとして活躍。
2011年1年間慶應FCにレンタル移籍。ロンドンオリンピック日本代表。背番号11



齊藤 学

よこはま市商連 165号 2012.11 06

ニュース NEWS



ガチコロ!とガチあま!がそろって出店

石巻視察

10月24日(水)～25日(木)、横浜市商連の会員他全34名が参加し、宮城県石巻市内商店街等を視察。復興の取り組みや課題についてお話をうかがうとともに、地元商店街との交流を深めました。震災後1万1千人の人口が流出、商店街も苦しい中、街づくりに取り組んでいます。ますますの復興を願っています。



石巻立町復興ふれあい商店街を視察

中山まつり開催 緑区

11月3日(土)緑区・中山商店街(協)では「第31回 中山まつり」を実施しました。歩行者天国にした商店街は一日中来訪者でにぎわい、駅前広場ではさまざまな催し物が駅前広場のイベント会場や駅前駐車場特設ステージでは、ダンスや音楽なども披露。多くの人が秋の一日を楽しんでいました。「地域の方々が楽しんでくれています。これだけの人出がある商店街のイベントもめずらしい。今年は横浜市との連携で『花いっぱい、人いっぱい事業』も実施し、会場でも花を配布しました。」と加藤龍昭理事長。



駅前広場ではさまざまな催し物が駅前広場のイベント会場や駅前駐車場特設ステージでは、ダンスや音楽なども披露。多くの人が秋の一日を楽しんでいました。「地域の方々が楽しんでくれています。これだけの人出がある商店街のイベントもめずらしい。今年は横浜市との連携で『花いっぱい、人いっぱい事業』も実施し、会場でも花を配布しました。」と加藤龍昭理事長。

ヨコハマ3R夢(スリム)のイベントに「ガチコロ!」&「ガチあま!」を出店

10月27日(土)山下公園で、ヨコハマ3R夢フェスタ(横浜市資源循環局主催)が行われ、「ガチコロ!」&「ガチあま!」のブースを出店。ガチコロ!金賞の「三角コロッケ」はお昼前には完売。銀賞の食べ比べセットも飛ぶように売れていきました。「ガチあま!」からは「ふらんすやまポテト」、「ガーデン山のステイック」が出品。会場に訪れた人たちも興味津々でした。

「2012本牧ハロウィン」で仮装パレード、仮装コンテストを実施

中区



子ども達がカボチャの目印のお店を訪問

10月27日(土)、本牧通りを仮装した子どもや大人が行進し、店頭のかぼちゃが目印の参加店でお菓子をもらいながら交流を深めました。パレードに先立ち、中本牧コミュニティハウスでは仮装コンテストを実施。子ども135人、おとな120人の計255人が参加し、大盛況のうちに終了しました。(第4地区南部元気づくり推進協議会商店街活性化部会主催、中区・本郷町商栄会、本牧リボンファンストリート、本牧一丁目東商友会などが協力)

編 集 後 記

- ▶伝えたい、知りたいという皆の前向きな意識で情報は伝達されると確信。(F)
- ▶ガチあま!受賞商品の他にも美味しいものがたくさん。横浜スイーツすごい。(N)

ハマふれんど 商店街で加入しませんか?

会員特典 盛りだくさん!

●毎月の掛け金は
1人500円(税控除対象)

宿泊補助(契約ホテル)

リフレッシュをはかるため、提携宿泊施設を利用する際に、補助金(1泊5,000円/会員)を受けられます。
※年度2泊まで



保養所

宿泊施設を借りあげて、会員の皆様の保養施設として提供しています。(全7施設)
※年度2泊まで

045-662-4435
<http://hamafriend.jp>

ハマふれんど 検索

「ハマふれんど」は、横浜市が実施している中小企業のための福利厚生制度です。

受託事業者：横浜市商店街総連合会